

こどもエコクラブ

2023年度事業実施報告書

地球のワクワク！発見しよう
～私が主役！なかまと一緒にみらいを作る～



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局
＜後援 環境省＞

目次

■ はじめに	2
■ こどもエコクラブのミッション・ビジョン	3
■ 2023 年度のトピックス	4
■ 事業報告	6
□ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	6
(1) こどもエコクラブの認知度向上	
(2) こどもエコクラブへの登録促進	
□ 環境活動・学習の活性化促進	12
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	
(2) 教材・プログラムの提供	
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	
(4) 企業・団体との連携および協働の推進	
(5) All Japan Youth Eco-club	
□ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	22
(1) 地域活動活性化	
(2) 全国規模での交流と顕彰	
(3) 他団体からの表彰	
■ 地域事務局の取組事例	26
■ ご支援いただいた企業・団体	29
■ 登録データほか	30
■ 全国エコ活コンクール 受賞作品	34

はじめに

2023 年 5 月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5 類」に移行されました。こどもエコクラブもコロナ禍前と同様の取組を再開し、徐々に活発な活動の様子が報告されるようになりました。自治体主催の交流会や企業・団体との協働活動も各地で行われるようになり、コロナ禍を経たことで人と人との関わりや交流の大切さが改めて広く認識されたように感じます。

こどもエコクラブに対しても、2023 年度は 72 の企業・民間団体が協賛、寄附およびプログラムの共同事業等でご支援くださったほか、538 の地方自治体に地域事務局としてクラブの活動を支援いただきました。環境活動に取り組む子どもたちを取り巻く様々なステークホルダーとの連携の深まりは、地域の環境保全の推進と子どもたちの「未来を創る力」の育成に着実に寄与していると確信しています。

2023 年 4 月に札幌市で開催された先進 7 カ国 (G7) 気候・エネルギー・環境相会合では、海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにする目標年を当初の目標年 2050 年から 10 年前倒しとなる 2040 年とすることで各国が合意しました。また喫緊の課題である気候変動問題に対しては「1.5℃目標」および「2050 年ネットゼロ」に向け、世界全体での取組を加速していくことが呼びかけられました。

こどもエコクラブでも、子どもたちの身近な「葉っぱ」を切り口に身近にできる脱炭素アクションにつなげるプログラムやごみ拾いをきっかけに海洋ごみ問題や循環型社会を考える一斉活動を実施しました。また多数のクラブから省エネ行動やクリーン活動の報告が年間を通して継続的に届いており、世界を取り巻く環境課題に関心を持ち、それらを解決し持続可能な社会づくりを担う子どもたちが着々と育ってきています。

私たちは、こどもエコクラブ事業を通して持続可能な社会を目指す意志と行動力を持つ子どもたちを育て、その輪を更に大きく広げていくために、多様な組織や人の参画と協力のもと、全国のクラブの活動を支援するとともに事業を継続・発展させる取組を推進してまいります。

今後も引き続きこどもエコクラブ事業をご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024 年 4 月 こどもエコクラブ全国事務局

こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、幼児（3 歳）から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

◆ビジョン（＝理想の未来）

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

◆ミッション（＝なすべきこと）

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。



上記のビジョン・ミッションの下、継続的に

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
- 環境学習・環境活動の活性化
- 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ

の 3 つの柱を掲げて、様々な活動に取り組んできました。



2023 年度のトピックス

◆「環境教育・ESD 実践動画 100 選」に複数クラブが選抜！

環境省が実施する環境教育・ESD の実践の優良事例の動画を選定・発信する事業「環境教育・ESD 実践動画 100 選」に、日頃から熱心に活動している複数のクラブが入選しました（P25 参照）。

12 月に行われた 100 選認定授与式では全国各地の認定団体の代表として「せいわエコクラブ」が登壇して動画の紹介をしました。今回の受賞はこどもエコクラブの活動が ESD の実践であること、また SDGs 達成に向けた取組であることが認められた大きな一歩であることを広く発信する機会にもなりました。この度の受賞が各地のクラブにも刺激となり、こどもエコクラブの活動がよりたくさんの方に認知されてさらに飛躍していくことを期待しています。



◆「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024」 ～「みんなでクイズ大会」で交流深まる～

今年度の全国フェスティバルは完全対面にて開催しました。全国エコ活コンクールにて選ばれた各県代表のこどもエコクラブメンバーが集合し、壁新聞等の作品の前で日頃の活動内容を元気に発表しました。

5 年ぶりの完全対面ということもあり、作品をもとに各クラブが考えたクイズを出題して回答しあう交流プログラム「みんなでクイズ大会！」を企画・実施しました。他のクラブの作品を見て疑問に思ったことや気になったことをお互い聞き合いながらクイズへチャレンジすることで、初めて会った子どもたちの距離も一気に縮まっていました。子どもたちを支えるサポーターたちも情報交換をしあい和気あいあいの雰囲気となりました。交流を楽しむメンバー・サポーターの姿に、参加した企業団体の方々や関係者はもちろん私たち全国事務局スタッフも、直接顔を合わせるコミュニケーションの大切さや喜びを感じました。



◆多様な主体と連携した教材の企画開発

東京都の取組「東京都こどもスマイルムーブメント」の「自治体と団体の連携取組」に公益財団法人日本環境協会として参加して、子どもの興味を引く「葉っぱ」を切り口にして脱炭素につながる行動を促進するプログラムを企画、江戸川区と江東区で実施しました。葉っぱの観察やネイチャービンゴなど樹木を楽しむアクティビティを通して二酸化炭素を吸収する樹木の働き等を学び、自分たちにできる脱炭素アクションについて考える構成となっています。自治体の推進する脱炭素の取組を取り入れながら展開することができるため、全国各地での展開を視野に、今後広く実施していく予定です。



また、ヒアリが国内初めて確認された 2017 年度にアース製菓の協賛により制作した「危険生物カードゲーム」を基に、里山・山の活動におけるリスク「危険生物」「熱中症」「けが」を題材にしたすごろく型ゲームのプロトタイプを作成しました。企画にあたっては大学生インターンを中心に検討を進め、子どもが自ら行動を選択してリスクへの対策の重要性を学べる構成を盛り込み、日頃から屋外で活動しているクラブを対象にワークショップを実施して子どもたちから意見や感想を収集しました。次年度は有識者にも意見をいただいて完成につなげていきます。



◆クラブページに新機能搭載・ワンストップで登録・継続！



事業の DX 推進の一環として、こどもエコクラブウェブサイトのクラブページを 4 月に改訂、クラブ登録に併せて自動的にクラブページを生成する機能を設けました。継続クラブの手続きや年度途中の登録情報の変更もウェブサイトより簡単に行えるようにして、諸手続きにかかるクラブの利便性を大幅に向上しました。また自動的にクラブページができたことによりクラブの活動レポート投稿の促進にもつなげました。

事業報告

□ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

◆ ウェブサイト、SNS を通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2023 年度の合計ページビュー：590,489PV

2023 年度の合計訪問者数：154,497 ユーザー

また Facebook や X(旧 Twitter) など、SNS を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



Facebook (2024 年 3 月)
「いいね!」: 1,316 件
フォロワー: 1,353 人



各地域担当別 X(旧 Twitter)
地域に合わせた情報を発信
合計フォロワー数: 2,983 人



Instagram
日々のトピックスを画像で発信
フォロワー: 265 人



◆ 外部メディアの活用

活動や事業のトピックスについて、適宜環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや地方紙等にプレスリリースに加え、プレスリリース配信サービス PRTIMES の非営利サポートプロジェクトを活用し無償にて当該リリースを広く配信して、地域のメディアを含めた多様な媒体に発信しました。壁新聞の受賞の話題を中心に各紙・メディアに取り上げられました(主なものを抜粋)。

日付	メディア	記事タイトル(掲載クラブ)
2023/4/17	沖縄タイムス社	海のごみ調査 文部大臣賞 南城の小中高生「エコホヌ」現状をグラフ化新聞製作 市長に報告(EOHONU(エコホヌ):沖縄県南城市)
2023/4/18	中日新聞	壁新聞で全国入賞「イタセンパラ絶滅危機伝える」一宮「劇団シンデレラ」(劇団シンデレラ:愛知県一宮市)
2023/5/13	南日本新聞	海ごみ楽器でエコ活(色響(IRO&HIBIKI):鹿児島県鹿児島市)
2023/5/17	葉山市ウェブサイト	はやまエシカルアワード2023PR部門(エシカルPRコンテスト)(Blue Marble:神奈川県葉山町)
2023/6/1	NHK 情報 WAVE かごしま	出演(IRO&HIBIKI):鹿児島県鹿児島市)
2023/6/2	茨城新聞	環境特集2023 つなげよう地球の未来(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2023/6/2	茨城新聞	環境特集2023 楽しく学ぶ 意識育み実践(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2023/7/25	読売新聞	舞台外でも環境活動(劇団シンデレラ:愛知県一宮市)
2023/8/11	福岡 KBC ラジオ	水と緑のキャンペーン(水と緑の物語)(ぶらぶらあぶらクラブ:福岡県福岡市)
2023/8/30	KTS かごしまテレビ 「かごんま未来ノート」	出演(IRO&HIBIKI):鹿児島県鹿児島市)
2023/10/6	北海道新聞	エコクラブ 自然もっと身近に(小野幌エコクリーン:北海道札幌市 リーみお:北海道札幌市)
2024/2/6	福井新聞	工作やゲームで環境保全に理解 鯖江の児童体験(鯖江市内のこどもエコクラブ)
2023/2/26	中日新聞	地道に歩み ごみ拾い80トン超(NPO 法人環境ボランティアサークル亀の子隊:愛知県田原市)
2024/2/28	奄美新聞	壁新聞で日本環境協会賞(阿室小中学校エコクラブ:鹿児島県宇検村)
2024/3/13	毎日新聞	小5 渡辺さん優秀賞(スイカクラブ:群馬県高崎市)
2024/3/23	中日新聞	一宮市北ロータリークラブの花水木賞を受賞



沖縄タイムス (2023. 4. 17)



南日本新聞 (2023. 5. 13)



読売新聞 (2023. 7. 25)



中日新聞 (2023. 10. 26)



福井新聞 (2024. 02. 05)



栃木新聞
(2024. 2. 28)

◆ ステークホルダーによる発信

地域事務局（自治体）や子どもエコクラブを支援くださっている企業団体からも、メンバー募集やクラブとの活動内容等について発信いただきました。



練馬区 ねりま区報



石巻市 メンバー募集



四季の香ローズガーデン
メンバー募集



こくみん共済 coop 〈全労済〉 ウェブサイト



三菱電機 ウェブサイト



日本WPA ウェブサイト



嵯峨野株式会社 きしゃぽんウェブサイト



全国牛乳容器環境協会
ウェブサイト

◆ イベント等への出展・参加

自治体等が主催する環境イベント（オンライン含む）への参加や環境関連展示スペースでの展示を通して、こどもエコクラブ事業や楽しく活動するクラブの様子を紹介し、こどもエコクラブへの参加・登録を呼びかけました。

実施日	イベント・展示会場	主催者	内容
2023年4月15日～16日	環境広場ほっかいどう 2023	札幌市	フクロウの防災スリッパ作り 新聞紙で簡単に作れる防災スリッパ作りを通して防災プログラムを紹介 【ブース出展】
2023年6月4日	いちかわ環境フェア 2023	市川市	「SDGs アクション選手権☆投票してね！」 千葉県内を中心とした全国のクラブの活動写真を掲出し活動をアピール 【ブース出展】
2023年8月1日～31日	令和5年度「環境省こども霞が関見学デー」	環境省	「エコまるのクイズ&エコマンガを見て、SDGs アクション宣言しよう！」 【オンライン】
2023年8月1日～9月30日	地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）	全国事務局	「活動スタートには夏が最適！／SDGs 活動を始めよう！・ごみ問題へのチャレンジ！」 こどもたちが取り組む環境活動を紹介&活動スタートの呼びかけ 【壁新聞展示】
2023年11月14日	埼玉県庁オープンデー	埼玉県	コバトンの防災スリッパをつくってみよう！ 新聞紙で簡単に作れる防災スリッパ作りを通して防災プログラムを紹介 【ブース出展】
2024年2月5日～17日、3月9日～10日（パネル展示） 2月15日～3月29日（動画配信）	第22回草津市こども環境会議	滋賀県草津市	こどもエコクラブ事業概要 【パネル展示】 「未来の環をつなぐ・次代のエコリーダー！～こどもエコクラブからの発信～」 【動画配信】



環境広場ほっかいどう 2023



いちかわ環境フェア 2023



GEOC 展示



埼玉県庁オープンデー

◆ 広報ツールの貸し出し

地域事務局（自治体）等に、広報ツール（前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ等）を貸し出しました。（旗等：3ヶ所、エコまる着ぐるみ：2ヶ所、壁新聞9ヶ所）



エコまる着ぐるみ



自治体 庁内ロビーの展示

（2）こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児（3歳）から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人（サポーター）で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

2023年度の登録数は、クラブ数：2,193クラブ、メンバー数：92,274名、サポーター数：18,906名でした。

クラブ数は昨年度に続き2,000超え、こどもエコクラブを通じて環境活動に関わった子どもたちは延べ約300万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取組を行いました。

◆ ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードできるようにしました。



左：ポスター 右：チラシ

今年度も持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development: ESD）を推進しているユネスコスクールへの配布をはじめ、Web（イベント情報ページ）にて環境イベントを紹介した施設・団体にて配架いただくなど、配布先を増やすことによって積極的に登録を働きかけました。



加えて、子ども環境情報紙「エコチル」に全国のこどもエコクラブの活動内容を掲載し、紙面配布地域の小学生および保護者に登録を呼びかけました（掲載期間：2023年4月～2024年3月）。また、「エコチル」が運営するYouTubeチャンネル「エコチルライブ」に各地のこどもエコクラブ（11クラブ）が出演し、取り組んでいる活動を紹介しました。

◆ メンバーズバッジの配布

こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを、新たに登録したクラブメンバーへの特典として配布しました。

※クラブの個人情報は弊協会プライバシーポリシーにのっとり、適切に管理しています。

※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.30「登録データ」を参照。



メンバーズバッジ

□ 環境活動・学習の活性化促進

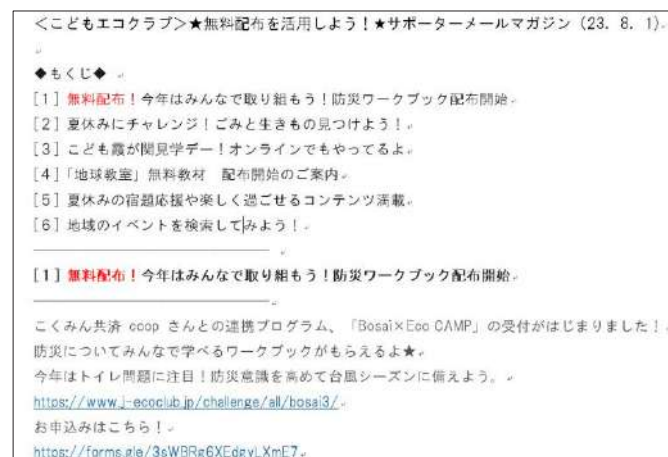


(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、助成金情報や地域別のイベント情報の掲載を行っています。また、「リアルヴォイス」と題して、各地で充実した活動を行っているクラブの紹介や、メンバーたちの先輩であるクラブのOB・OGの方へのインタビューなどを掲載しています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターメール・マガジン」を月2回配信しています。



リアルヴォイス



サポーターメール・マガジン

(2) 教材・プログラムの提供



◆ 手帳、エコカード等の作成・配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を希望するメンバーに実費頒布しました。1年間愛着を持って使ってもらえるよう、表紙に自分の顔を描く仕様としています。小学校入学前のメンバーには「ぼくの/わたしのエコカード!」を希望するクラブに送りました。エコカードにはSDGsのアイコンを追加し、保護者・保育者のSDGsに関する認知・理解の向上を促しています。

サポーター(大人)向けには、事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」を新規登録クラブに配付しました。



メンバー手帳

エコカード

応援マニュアル

◆ 多様な主体との協働プログラムの実施

企業・団体と連携した講座やプログラムを企画、協働により実施しました(カッコ内は連携・協働相手の企業・団体)。

【全国一斉活動】

全国のクラブが一つのテーマに基づいた活動をしてこどもエコクラブとしての一体感を高め、メンバーの達成感・充実感をみんなで共有しました。

① みんなで Bosai × Eco CAMP (こくみん共済 coop 〈全労済〉)

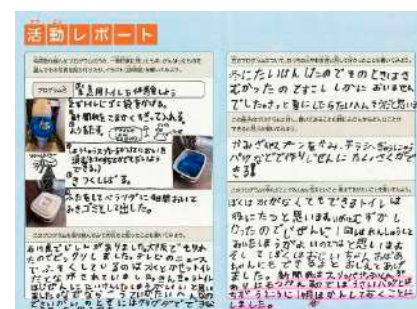
2021年度より継続的に実施している防災プログラムです。今年度は部屋の安全に加え防災標識の確認、安全な場所への避難に向けた行動など屋外での活動を取り上げました。災害時の行動や普段のくらしを見直すエコ活動にもつながる本プログラムには、122クラブ、2,872名のメンバーが参加しました。

活動を通じて感じたこと・考えたこと等をまとめる活動レポートの募集には全国から139の応募がありました。有識者による審査会にて優秀賞を受賞したメンバーは、東京都の防災体験学習施設「そなエリア東京」にて表彰を受け、館内の防災体験ゾーンで防災の重要性や災害時における安全な対応等について学びました。



〈活動期間〉 2023年8月1日(火)～2024年1月31日(水)

〈防災活動レポート 表彰式〉 2024年3月16日(土)



② GO! 美らくるリサイクル 2023!

(アポクリート・ピリカ)

ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用して屋外でのごみ拾いや分別活動を通して循環型社会について学ぶ「GO! 美らくるリサイクル 2023!」を実施しました。実施にあたって、事前に「海洋プラスチック問題について」の解説とごみ拾いSNS「ピリカ」の使い方の動画をウェブサイトに掲載してクラブの取組を広く呼びかけました。3回以上活動したメンバーには「エコまる軍手」と「ピリカバッジ」を送付して、これからもごみ拾い・分別活動を継続するよう働きかけました。

〈活動期間〉 2023年7月21日(金)～9月30日(土)

〈投稿数合計〉129



【地域の企業団体とクラブとが関わり合う活動】

企業・団体が実施する環境保全活動やプログラムにクラブが参加し、社員等と交流を深めながら元気に活動しました。

① みつびしでんき野外教室@行徳鳥獣保護区 2023（三菱電機）

三菱電機の全国各地の営業拠点で社員が自然環境教育を行う「みつびしでんき野外教室」を、こどもエコクラブ対象に実施いただきました。植物や生き物に関するクイズを交えながら、保護区内の自然を大いに楽しみました。



② プロントコーポレーション こどもエコクラブ 緑の活動（プロントコーポレーション）

2016年から継続的に全国各地のプロントコーポレーションの社員と当該地域のクラブとが協働した森林保全活動を実施しています。2023年度は、5月に神奈川県・11月に大分県で地域の社員とクラブが集まって植樹活動を行いました。



③ トヨタ環境こどもプログラム トンボ篇（トヨタ自動車）



トヨタ自動車の社員のご家族と共に、身近なトンボを題材に生き物や自然の大切さを学び、自分たちにできるエコ活動を考えるプログラムに参加しました。クイズや工作など室内での学習と小石川後樂園での自然観察の組み合わせによる講座は、子どもたちにとって深い学びと気づきにつながりました。

④ 「フードロス・パトロール!!～身の回りのもったいないを見つけよう～」 （早稲田大学環境ロドリゲス ecoSMILE）

環境と教育をつなげる活動をしている早稲田大学の環境サークル「環境ロドリゲス ecoSMILE」に、食品ロスをテーマにしたオンライン環境講座を実施いただきました。北海道に静岡県、滋賀県など全国各地のクラブが参加して、家庭にある食品を用いて賞味期限と消費期限の違いを考えました。



その他日の丸リムジンとの植樹活動など、多数の企業団体との様々な協働活動が広がっています。

（3）活動レポート、壁新聞へのフィードバック



◆ エールメッセージ

クラブから日々寄せられる活動レポートに対して、環境に知見のある弊協会のこども環境相談室・相談員より活動の発展につながるコメントやアドバイスを「エールメッセージ」として、投稿後2週間以内に送付しています。2023年度は1,002件の投稿がありました。

【掲載例】

◆海でビーチコーミングしよう

今回の野外活動では銭函海水浴場でビーチコーミング（＝海岸に流れ着いた漂流物を拾うこと）を行いました。親子参加OKということで40人近くの参加がありました。グループ毎に分かれて、ビーチを自由に歩き回り漂着物を拾っていきましました。その後講師の方から漂着物から分かること、海洋汚染や環境保全問題について解説いただきました。最後は拾った漂着物から海洋ごみの起源・組成調査を行いました。ごみは分別し、お気に入りの漂着物は宝物として各自持ち帰りました。

<参加者のようす>

今回の野外活動では銭函海水浴場でビーチコーミング（＝海岸に流れ着いた漂流物を拾うこと）を行いました。親子参加OKということで40人近くの参加がありました。グループ毎に分かれて、ビーチを自由に歩き回り漂着物を拾っていきましました。その後講師の方から漂着物から分かること、海洋汚染や環境保全問題について解説いただきました。最後は拾った漂着物から海洋ごみの起源・組成調査を行いました。ごみは分別し、お気に入りの漂着物は宝物として各自持ち帰りました。



<感想・気づいたこと・考えたこと>

子ども達の目は大人の目では気が付かないものも不思議と見つけられるようで、貝殻から漁に使う釣り道具までどんどんいろんなものを発見していました。講師の解説を真剣な表情で聞き、講師にこれはどこからきた漂着物かと積極的に質問する姿も見られました。活動の後は見つけた貝殻を大切に持ち帰っていました。ビーチコーミングを通して、漂着物の中にはきちんと分別や処理がされていないゴミがあり、海洋汚染が生き物や人間にたくさんの影響を及ぼしていることに気付くことができました。また海岸清掃をするときれいになるだけでなく、拾ったごみが海洋ごみ調査の資料となり海洋ごみの研究に貢献できることがわかりました。普段からごみの分別を気を付けるだけで海を守ることができることを今回の活動で実感できました。



◆エールメッセージ◆



さっぽろあそエコ団のみなさんこんにちは。秋の海でのビーチコーミング、おつかれさまでした。いろいろな種類の漂流物があつたと思います。思いがけないものや初めて見たようなものはありましたか？北海道の海にはどのような漂流物が流れてくるのかな。漂流物から海洋ゴミが起源や、何でできているかなどがわかるとのこと。今回の調査ではどのようなことが分かりましたか？

海洋ゴミは世界中で大きな問題になっています。みなさんが行ったビーチコーミングのような活動は、海洋ゴミのことを考える良いきっかけになりますね。レポートしてくれたように、ゴミをきちんと分別したり処理したりすることは、ゴミを減らすために大切です。また同時にゴミの原因となる材料（プラスチックなど）の使用そのものも減らしていかなければいけないかもしれませんね。北海道の豊かな海をどのように守っていけるでしょう？みなさんはどう思いますか。

これからも元気に楽しく活動を続けていってください。みなさんの活動を応援しています。

◆ 壁新聞道場！

2023 年度に提出された、1 年間の活動をまとめた壁新聞全 131 作品に対して、環境に知見のある弊協会のこども環境相談室・相談員より、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。地域事務局からのメッセージも併せて掲載しました。

【掲載例】



◆とっておきのゴシドウ◆

エコポスターコンクールでは、次世代を担うみなさんがエコポスターを審査（しんさ）。それを地域のお店や施設ではっていただき、お客さまにエコな行動に気づいてもらう試みで、とても良いですね。たくさんの作品を審査するのは、楽しいけれど大変なことだと思います。がんばりましたね。ちょっと気になったのは、ポスターを見た人がどう感じたかということ。自分の行動を変えるきっかけになったのかな。はる側のお店や施設の方はどう考えているのでしょうか。コンクールの影響についても、しらべて教えて欲しいと思いました。きっと、ポスターを見た人や貼っている方からも、みなさんに伝えたいことがあると思いますよ。

最後に、読者として、このようなすばらしい活動をしているみなさんの生の声をしっかり読みたいと思いました。感想の文字が小さく少し残念に思いました。せっかくの感想や意見なので、読みやすいようにまとめ方を考えてくれるとうれしいです。

◆地域事務局からの応援メッセージ◆



テーマごとのイラスト枠の中に活動内容が書いてあり、とても分かりやすく作成されています。また、活動写真とクラブ員の感想が周囲にたくさんレイアウトされており、活動内容を詳しく知ることができました。地産地消クッキングでバイオガスをエネルギーとして使用するなど、様々な実体験を通して環境を守ることの大切さに気づき、皆さんの環境の大切さを周りの人に知ってもらいたいという思いが感じられました。これからも地域の皆さんと一緒に活動頑張ってください。（埼玉県）

MIYASHIRO エコ★スターズの皆さん、2002 年も地球の為、地域の為に様々なエコ活動ありがとうございました。今回の壁新聞も今年皆さんが頑張った活動の様子がたくさんの写真とともに分かりやすく記載されていると思います。また、メンバーの皆さん一人一人の体験談や感想がいろんなところにかかれており、読んでいてとても楽しい壁新聞だと感じました。今後もメンバーの皆さんで力を併せて活動を継続していただき、エコ★スターズの皆さんの更なる活躍を期待しています。（宮代町）

◆ 活動レポートフォトコンテスト

活動レポートと一緒にクラブから寄せられる写真を活用したフォトコンテスト（協力：ケニス、共立理化学研究所）を 3 期に分けて実施・表彰して、活動報告の投稿を促すとともに、受賞作品を広報資料に掲載するなど写真を活用して元気に活動する子どもたちの様子をアピールしました。

<2023 年度 年間賞>



■こどもエコクラブ賞

福岡工業大学附属城東高等学校 科学部（福岡県）
「カブトガニの幼体調査その 2」



■ケニス賞

里山みんなの未来くらぶ（滋賀県）
「不耕起田んぼで生き物観察」



◆ 新人賞、皆勤賞

毎月 1 回、その月に初めて活動レポートを投稿してくれたクラブの中から抽選で 1 クラブに「活動レポート新人賞」を贈呈しました（協賛：バンダイナムコホールディングス）。また、四半期ごとに 1 回以上（合計 4 回以上）活動レポートを送ってくれた 18 のクラブに皆勤賞を授与し、日頃より熱心な活動をしているクラブとして称えました。



初めて活動レポートを報告してくれたクラブに内けて、抽選で活動褒賞品をお送りしている「活動レポート新人賞」！

2023 年度 3 月の「活動レポート新人賞」に輝いたクラブは・・・
フードドライブで集めた食材を寄付したときのように報告してくれた
『Mori to Doubutsu』です！



フォトコンテスト及び新人賞、皆勤賞は、より多くのクラブから活動レポートを投稿してもらうことをねらって実施しているものです。今年度の投稿クラブ数は 115 でした。





(4) 企業・団体との連携および協働の推進

2023 年度も様々な企業・団体様に、主催するコンクール等の広報活動を中心にこどもエコクラブと連携・協力していただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターや地域事務局に活動の周知を図り、多くの子どもたちに参加していただきました。

◆ アシストプログラム

パートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介しています。

■ アシストプログラム一覧（2024 年 3 月現在）

区分	団体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	キリン	キリングroup×「環境マークプログラム」コラボプロジェクト	全国
	宝酒造	宝酒造「おうちで田んぼ体験キット」無料配布	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	しげるくんエコ大使	全国
	日本 CCS 調査	地球温暖化対策のスゴイ技術「CCS」を学ぼう！	全国
	日本 WPA	教科書ってどうやって作るの？～環境にやさしい水なし印刷のお話～(動画)	全国
	トヨタ自動車	節水について楽しく学ぼう！節水 BINGO カードの提供	全国
	JBRC	小型充電式電池がまるわかり！キッズアイランド	全国
	HOYA アイケアカンパニー (コンタクトのアイシティ)	アイシティ eco プロジェクト	全国
	アース製薬	ガーデニングのお悩み解決ホットライン	全国
体験・学習プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	アース製薬	クラブの『みどりのゆび アクション』を応援！園芸スペシャル講座	関東近郊
	キリン	工場見学ツアー（全 6 ヶ所）	工場の近隣地域
	タカラトミー	おもちゃで学ぶ！SDGs ナゾトキ教室（無料オンライン授業）	全国
	三菱電機	バイオームを使った「生きものみつけ」	全国
	トヨタ自動車	まなびと遊びの体験を紹介！（オンラインコンテンツ）	全国
各種コンテンツ	出光興産	環境フォト・コンテスト[わたしのまちの〇と×]	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	小学生 ECO 絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	第 11 回「ミツバチの一枚画コンクール」	全国
	3R 推進フォーラム	3R 促進ポスターコンクール	全国
	サントリービバレッジソリューション	ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール	全国
	ターナー色彩	2023 みんなの絵画コンクール	全国

区分	団体名	プログラム名	対象地域
体験・学習イベント	キリン	キリン・スクール・チャレンジ	全国
	トヨタ自動車	トヨタ環境こどもプログラム トンボ篇	
	東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
発表・交流の場	宝酒造	田んぼの学校オンライン	全国
キャンペーン	JBRC	JBRC リサイクルクイズキャンペーン 2023	全国



紹介プログラムのチラシ・ウェブサイト



◆ 他団体のイベント・キャンペーン情報の提供

様々な団体が実施するイベントやキャンペーンの情報をウェブサイトやメールマガジンで発信しました。これらの情報提供はクラブに役立つだけでなく、主催する団体にこどもエコクラブのことを知ってもらう良い機会にもなっています（主なものを抜粋）。

掲載日	主催組織・団体	内容
2023 年 7 月 3 日	環境省	環境教育・ESD 実践動画 100 選～始めよう！広げよう！学びの取組～
2023 年 7 月 11 日	サントリービバレッジソリューション株式会社	第 13 回「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクール
2023 年 7 月 20 日	朝日新聞	「地球教室」無料の教材と出張授業
2023 年 8 月 3 日	キリングroup／一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	KIRIN×環境マークプログラムコラボ企画
2023 年 8 月 4 日	脱炭素チャレンジカップ事務局	脱炭素チャレンジカップ 2024
2023 年 10 月 26 日	日本環境教育学会・小中学生応募企画事務局	2023 年度「2050 年の社会とわたしたちの暮らし」アイデア募集
2024 年 1 月 10 日	北海道大学総合博物館	ミュージアムラリー in 北海道大学総合博物館

◆ アドバイザリーボード・ステークホルダーミーティングの実施

有識者、国・地方の行政機関等を委員とし事業に対してご助言いただく「アドバイザリー・ボード」と、こどもエコクラブを支援する企業・団体、熱心に活動しているクラブや関係者が一堂に会する「ステークホルダー・ミーティング」を併催し、オンラインにて「環境省 こどもエコクラブステークホルダーミーティング 2023」を実施しました。

2つの会をまとめて開催したことで、事業のビジョン・ミッションや今後の計画に加え、最新の環境トピックスや企業団体・クラブの事例紹介など、こどもエコクラブに関わる多様な情報を様々なステークホルダーと共有することができました。

【日時】2024年1月19日（水） 15:00～17:15

【主催】環境省、公益財団法人日本環境協会

【参加者】41団体、60名

【主なプログラム】

◎テーマ：「ネイチャーポジティブ」

- ・環境トピックス「ネイチャーポジティブをベースとした気候変動対策・脱炭素の推進」
NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー 堅達京子 氏
- ・企業の事例発表 「キリングループのネイチャーポジティブとカーボンニュートラルの統合的アプローチ」
キリンホールディングス
- ・クラブの事例発表 「明石川での活動」玉ーアクアリウム（兵庫県神戸市）

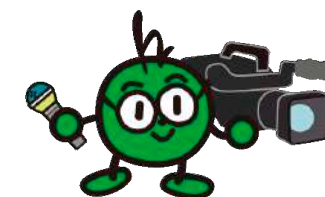


（５）All Japan Youth Eco-club

こどもエコクラブのOB・OGを中心に、環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、こどもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワークとして発足しました。こどもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

◆ 「ユースが行く！」連載

ユースが自分のクラブの枠を越えて、他のクラブを取材して活動を紹介したり、自身が実行・参加したエコ活動の報告をしたりする記事「ユースが行く！！」を2回、ウェブサイトに掲載しました。



◆ 地域交流会・全国フェスティバルのサポート

10月に開催された「大阪ATC こどもエコクラブ交流会」では、リモートと対面の参加クラブどちらにも発表がしっかり伝わるようフォローし、参加者みんなの交流が充実するよう細やかにサポートしました。3月の「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024」では司会やエコ活セッションのファシリテーションをはじめ、前日の会場設営や各所での誘導もつとめ、全国フェス全体を頼もしくサポートしてくれました。フェス開催後には、たくさんのサポーターからユースのサポートへの感謝が寄せられました。こどもエコクラブユースはメンバーの憧れであることはもちろん、サポーターにとっても現メンバーがお手本として欲しい理想の先輩となっていることが感じられました。



大阪 ATC こどもエコクラブ交流会



こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024

■ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ

（１）地域活動活性化

◆ サポーター研修会

クラブのメンバーが意欲を持って活動し、ステップアップしていくためには、日頃から子どもたちを支えてくださっているサポーターの力が重要です。今年度は群馬県が、県内のこどもエコクラブ交流会「おもしろ体験してみ隊」の事前説明も兼ねたサポーター研修会を開催してくださいました。サポーター研修会は、子どもたちの成長を支える大切な柱であるサポーター同士の交流・スキルアップの機会となっています。全国事務局ではこれからも、サポーターのみなさんのスキルアップや交流の機会を提供していきます。

◆ コーディネーター説明会

地域で活動するクラブにとって、一番身近な応援団となってくれるのが地域事務局の担当者（コーディネーター）です。年度が替わり新しくこどもエコクラブ担当となった方々を対象に、こどもエコクラブの事業概要や全国の自治体でのサポート事例などをご紹介するコーディネーター説明会を5月、6月、7月の全3回オンラインで実施しました。子どもたちの活動を見守り支援することで地域の環境状態の把握や環境施策を進める際のネットワーク作りにも役立つことをご紹介しました。

◆ こどもエコクラブ交流会

前述した「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024」に加え、各地の地域事務局にて地域の活動発表・交流会などを多数開催していただきました。参加した子どもたちは、自分たちの活動や取組を発表したり地域の自然に触れたりすることで、地域の環境保全の大切さを実感するとともに、今後の活動へ意欲を高めていました。また、子どもたちの発表と絡めて地域団体との連携の場とするイベントを実施し環境教育の推進に活用する事例もありました。



大阪府



群馬県

滋賀県

草津市



（２）全国規模での交流と顕彰

◆ 全国エコ活コンクール

こどもエコクラブをはじめ全国の環境活動を行う子どもたちのグループを対象に、子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を実施しました。子どもたちが作成した壁新聞・絵日記・デジタル作品を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、有識者、各省庁担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞の環境大臣賞、文部科学大臣賞、日本環境協会賞、協賛企業賞、絵日記・デジタル作品の優秀賞等を選定しました。

■ 募集概要

- 募集期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 1 月 12 日
- 対象：全国のこどもエコクラブ、環境活動を行う子どものグループ
- 仕様：壁新聞部門ー模造紙大または A2 サイズ、縦横自由
絵日記部門ーA3 サイズ、縦
デジタル部門ーパワーポイント：8M 以内
動画：3 分以内
- その他：複数枚の応募可能

■ 募集結果

- 壁新聞 応募数：120 枚
- 絵日記 応募数：224 枚
- デジタル 応募数：8 作品

■ 審査結果

- 受賞壁新聞・絵日記 P. 34 参照

◆ アースレンジャー認定証の授与

子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証※」を作成し、1 年間に 5 回以上の活動を報告したメンバー（897 名：2024 年 3 月末現在）に授与しました。また、3 年間継続活動をしているメンバー（289 名）には銀バッジを、6 年間継続活動をしているメンバー（29 名）には、金バッジを授与しました。

年度が替わっても、2023 年度に活動したメンバーに対して引き続き授与していく予定です。

アースレンジャー認定証と
金・銀バッジ

壁新聞部門 環境大臣賞受賞作品



◆「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024」の開催

各地域で展開している活動を子どもたち同士が紹介しあうことで環境人材の育成を図るとともに、環境保全活動の定着・拡大を目的として、全国フェスティバルを実施しました。全国エコ活動コンクールにて選ばれた都道府県代表クラブ、絵日記受賞者等が参加し、子どもたちの活動発表・交流や環境に関する企業・団体展示ブースの見学と、同コンクールの表彰等を行いました。

■こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024～集まれ☆全国のSDGs チャレンジャー！～

○開催日：2024年3月24日（日）

○会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

○主催：公益財団法人日本環境協会（こどもエコクラブ全国事務局）

○後援：環境省、文部科学省、こども家庭庁、消費者庁、

独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益社団法人こども環境学会、

全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK

○特別協力：こくみん共済 coop（全労済）、タカラトミー、ミールケア

○出展企業・団体：

【ブース出展】（16団体）

イエローピンプロジェクト、エコチル、SGホールディングスグループ（佐川急便）、

エフピコ、加山興業、国立環境研究所 気候変動適応センター、

コンタクトのアイシティ、全国牛乳容器環境協議会、トヨタ自動車、

日本環境教育学会、日本CCS調査、日本WPA、日本容器包装リサイクル協会、

文化シャッター、リサイクル・プラザJB（ジャパンビバレッジエコロジー）、

エコマーク事務局

○協力：All Japan Youth Eco-club、共立理化学研究所、ケニス、

目白大学 人間学部児童教育学科 石田ゼミ、龍角散、

早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE

○参加者：327名

・都道府県代表クラブ：196名（子ども106名、大人90名）

・絵日記受賞メンバー：8名（子ども5名、大人3名）

・デジタル作品受賞メンバー：7名（子ども4名、大人3名）

・一般来場者：10名

・省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業団体等 関係者：22名

・出展企業・団体担当者：46名

・ユースボランティア、スタッフ：38名



全国フェスティバル開催に際して環境副大臣の八木哲也様より、こどもエコクラブに「今後の皆さんの活動に期待している」とのメッセージをいただきました。

企業・団体ブースも16とコロナ禍前に戻り、どのブースにもたくさんのメンバーやサポーターが訪れ大盛況となりました。企業・団体の取り組みを直接聞き、疑問点や感想を伝えることができるため、毎年好評をいただいています。



（3）他団体からの表彰

2023年度も、多くのクラブがコンクールで受賞・表彰されました。その一部をご紹介します。

賞名	コンクール名/主催者	クラブ名
2023 PR部門 はやまエシカル アクション賞	はやまエシカルアワード／葉山町	Blue Marble
入選	環境教育・ESD実践動画100選／環境省	MIYASHIRO エコ☆スターズ だいやエコクラブ せいわエコクラブ 認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ 豊田 SUNNY. 農園 三ツ星エコクラブ 福岡工業大学附属城東高等学校 科学部 ゆきのごしょエコクラブ(神戸市立雪御所児童館)
SDGs 未来新聞 優秀賞／学校賞	SDGs ポスター、SDGs 未来新聞／ふくしま SDGs プロジェクト	いわき市立高坂小学校 SDGs 隊
日本環境教育学会賞、佳作	2050年の社会とわたしたちの暮らし／日本環境教育学会	三ツ星エコクラブ あかぎネイチャーサイエンス
個人の部 金賞・環境大臣賞 ほか 各賞	第25回「みどりの小道」環境日記コンテスト／(一財)グリーンクロスジャパン	香美市こどもエコクラブ 鹿児島市立西伊敷小学校エコクラブ 宇検村立阿室小学校
花水木賞	第12回花水木賞／一宮市北ロータリークラブ	劇団シンデレラ

地域事務局の取組事例

地域事務局においても、さまざまな形でこどもエコクラブを推進しています。

（１）こどもエコクラブ関連記事（紹介・募集）の掲載



遠野市 ウェブサイト



三重県 情報紙（環境学習みえ春号）



武蔵野市 メンバー募集チラシ



高知県 ウェブサイト



宮崎市 ウェブサイト

（２）地域クラブのメンバー募集と運営
自治体でクラブを立ち上げ、管下の子どもたちを対象にメンバーを募集、年間を通して環境活動プログラムを実施しています。



宮城県南三陸町



長野県岡谷市

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	北見市	埼玉県	坂戸市	神奈川県	相模原市	滋賀県	志摩市
北海道	札幌市	千葉県	市川市	神奈川県	鎌倉市	滋賀県	大津市
宮城県	南三陸町	東京都	中央区	長野県	岡谷市	京都府	木津川市
福島県	会津若松市	東京都	新宿区	長野県	飯田市	兵庫県	たつの市
福島県	福島市	東京都	荒川区	静岡県	富士市	鳥取県	米子市
栃木県	宇都宮市	東京都	板橋区	愛知県	豊田市		
群馬県	前橋市	東京都	調布市	愛知県	長久手市		

（３）地域版ニュースレターの発行

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

都道府県	市区町村
岩手県	—
群馬県	—
福井県	鯖江市
福岡県	春日市



福岡県春日市 事務局だより



群馬県 サポーターズニュース

（４）交流会等 環境イベントの開催

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	札幌市	埼玉県	—	三重県	—	京都府	木津川市
岩手県	—	埼玉県	川越市	滋賀県	—	大阪府	—
群馬県	—	岐阜県	岐阜市	滋賀県	草津市	兵庫県	神戸市



全国の地域事務局設置自治体の多くが、当該自治体のウェブサイトでもこどもエコクラブを紹介、メンバー募集を呼びかけています。

山口市 こどもエコクラブ補助金交付制度

永平寺町 こどもエコクラブ支援助成金

(6) こどもエコクラブ活動報告書等の発行・配布

10

北海道函館市群馬県

1885

■パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）、寄付（72社）

■寄付（その他・個人）

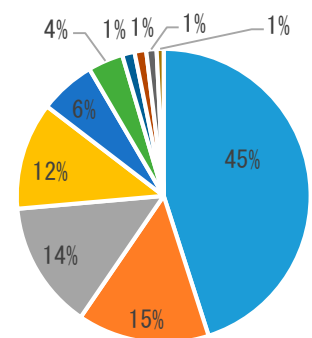
この他、6の個人やこどもエコクラブの方々からご寄附をいただきました。

登録データほか

■2023 年度都道府県別登録データ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	35	794	128
青森県	22	1,077	205
岩手県	29	656	130
宮城県	19	2,902	314
秋田県	40	3,923	720
山形県	2	4	4
福島県	9	184	61
茨城県	21	1,430	237
栃木県	21	1,562	412
群馬県	152	1,161	393
埼玉県	126	14,125	2,751
千葉県	73	1,797	319
東京都	331	7,778	1,120
神奈川県	144	1,618	495
新潟県	26	738	91
富山県	37	1,059	165
石川県	4	81	32
福井県	30	1,556	168
山梨県	5	159	21
長野県	16	557	178
岐阜県	30	954	112
静岡県	68	2,781	551
愛知県	46	2,037	381
三重県	61	7,593	3,230

○登録クラブ形態

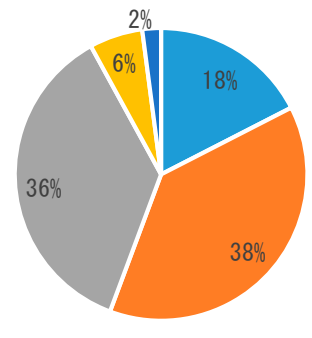


- 家族・親族のクラブ：988クラブ
- 学校のクラブ：318
- その他のクラブ：308
- 幼稚園・保育園のクラブ：259
- 近所や地域のお友達のクラブ：135
- 児童館・公民館のクラブ：85
- イオンのクラブ：30
- 自治体の募集のクラブ：28
- ボーイ・ガールスカウトのクラブ：25
- 子ども会のクラブ：17

合計：2,193 クラブ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	58	5,447	463
京都府	14	314	61
大阪府	66	3,095	240
兵庫県	59	1,552	314
奈良県	9	140	50
和歌山県	5	172	20
鳥取県	30	3,194	1,091
島根県	8	149	94
岡山県	36	1,677	566
広島県	49	419	112
山口県	9	203	37
徳島県	3	133	7
香川県	5	40	16
愛媛県	5	39	15
高知県	14	213	75
福岡県	222	8,137	1,555
佐賀県	121	5,126	1,029
長崎県	24	840	221
熊本県	20	1,187	181
大分県	30	1,425	209
宮崎県	29	1,060	136
鹿児島県	17	1,038	148
沖縄県	13	148	48
合計	2,193	92,274	18,906

○登録メンバー学年内訳



- 幼児：16,114人
- 小学校低学年：35,268人
- 小学校高学年：33,535人
- 中学生：5,446人
- 高校生：1,911人

合計：92,274 人

■2023 年度地域事務局登録一覧（47 都道府県 491 市区町村）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	三笠市	伊達市	石狩市	羽幌町		

青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
-----	-----	-----	-----	-------	------	-----	------

岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						

宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町	
-----	-----	-----	------	------	-----	-----	--

秋田県	秋田市	横手市	能代市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市
-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	------

山形県	酒田市	新庄市					
-----	-----	-----	--	--	--	--	--

福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					

茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					

栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	

群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市
	渋川市	藤岡市	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町
	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町	大泉町		

埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
	戸田市	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市
	富士見市	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市
	三芳町	小川町	吉見町	寄居町	宮代町		

千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					

東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	調布市
	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市		

神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市	寒川町	大磯町	

新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	新発田市	十日町市	糸魚川市
	妙高市	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村

富山県	高岡市	魚津市	砺波市
-----	-----	-----	-----

石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町
-----	-----	-----	-----	-----

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	茅野市
	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町			

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町	垂井町	揖斐川町			

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	犬山市	江南市
	稲沢市	日進市	東浦町	南知多町			

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	愛荘町
	多賀町						

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	吹田市	泉大津市	高槻市	守口市
	枚方市	茨木市	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市
	箕面市	高石市	東大阪市	交野市	阪南市	熊取町	

兵庫県	神戸市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市	宝塚市
	篠山市	たつの市					

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町
-----	-----	-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
	平生町						

徳島県	徳島市	阿南市
-----	-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	今治市	西条市
-----	-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	行橋市
	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	嘉麻市
	朝倉市	みやま市	宇美町	志免町	桂川町	香春町	苅田町

佐賀県	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市
	小城市	嬉野市	吉野ヶ里町	みやき町	玄海町	有田町	江北町
	太良町						

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	玉名市	山鹿市
	宇土市	上天草市	天草市	南小国町	益城町	山都町	芦北町
	あさぎり町						

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

全国エコ活コンクール 受賞作

■壁新聞部門

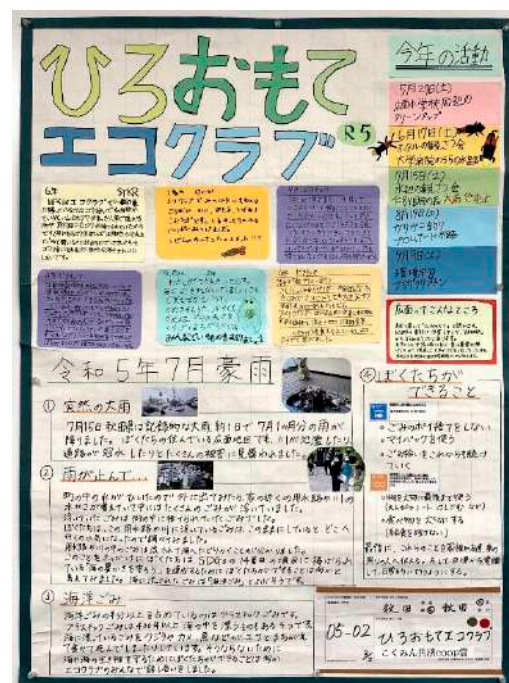
環境大臣賞



「釧路湿原エコ活通信 2023」

こどもエコクラブくしろ(北海道釧路市)

こくみん共済 coop 賞



「ぼくたち、わたしたちができること」
ひろおもてエコクラブ(秋田県秋田市)

文部科学大臣賞



「愛知の自然」

半田こどもエコクラブ(愛知県半田市)

タカラトミー賞



「おらほの輝く環境だより」
南三陸少年少女自然調査隊(宮城県南三陸町)

日本環境協会賞



「阿室っ子環境文化新聞」

阿室小中学校エコクラブ(鹿児島県宇検村)

ミールケア・エコまる賞



「ちきゅうにやさしいしんぶん」

認定こども園七松幼稚園(兵庫県尼崎市)

■デジタル部門 優秀賞

【動画】



せいわエコクラブ(大阪府大阪市)

動画は下記 QR コードより

ご確認ください★



■絵日記部門 優秀賞



「ふっ活だんぶり池」

HEP21 エコクラブ(青森県弘前市)

山谷 聡友さん



「小さな取り組みで地球を救おう！」

阿室小中学校エコクラブ(鹿児島県宇検村)

上米良 心菜さん



「花いっぱいの未来へ」

いわき市立高坂小学校 SDGs 隊(福島県いわき市)

永山 衣都さん



「楽しかった磯観察」

せいわエコクラブ(大阪府大阪市)

池田 慎太郎さん

地球のワクワク！ 発見しよう こどもエコクラブ 私が主役！ なかまと一緒に未来をつくる

こどもエコクラブは、子どもたちが地域で行う継続的な環境活動・学習のクラブです。仲間と一緒に、身近な場所で活動を積み重ねながら、自主的に人と環境とのかかわりを学びます。

■子どもたちの「ワクワク！」を応援します

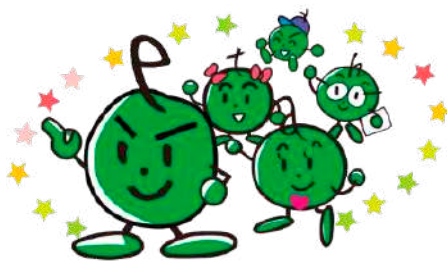
子どもたちが、自然への興味関心をきっかけに、自然を守ることが地球にとって大切なだけでなく、人間の生活にとっても大切であることを知る環境活動・学習を支援します。身の回りの自然からさまざまな発見をし、他の生物同様、生態系の一部である人間の生活に応用することができる。そんな能力を身につけながら育ちます。

■子どもたちの「生きる力」を育みます

子どもたちが、エコ活動の意味を本質的に理解できる機会をつくと共に、なかまと一緒に活動することを支援します。身の回りの出来事や定見から、現在の社会とのギャップを自ら見つけ出すことで、未来の理想的な社会と将来の自分を重ね合わせ、社会的な課題を解決できる大人になる。そんな大きな目標を心に宿して育ちます。

■子どもたちの「地域を愛する心」を培います

子どもたちの、身近な地域の身近な自然を大切に思う、思いやりの心を育むことを支援します。身の回りの自然からの発見を重ねることで、感受性豊かな子どもたちは、自分のまちのすばらしさを感じ、探求し、愛し、主体的に守ろうとする。そんなまちの博士へと育ちます。



公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5

TMMビル5階

TEL 03-5829-6359 E-mail j-ecoclub@jeas.or.jp